

9月次活動報告書

団体名 野菜の自産自消の会

①目的

事業の目的

生ゴミや野菜屑等を培養土として活用し環境にやさしい野菜の自産自消を図るために多品種栽培に効率が良く連作障害などに対応が容易な協同栽培を行う。又この協同栽培は、土壌への適応性や農法の改善などのための試作栽培としても位置付けて新規野菜に積極的にチャレンジする場とする。

②実施概要

当月	活動名	実施日時	場所	内容	対象者 参加者(人数)
①	アイスプラントの栽培	9/7	森宅	<ul style="list-style-type: none"> 第一弾の8月下旬の種蒔の発芽、生育状況について：好ましくない 第二弾として9月上旬種蒔の実施 	会員（3名）
②	野菜苗の選定と購入	9/14	福地宅	<ul style="list-style-type: none"> 4種類を購入・定植を実施 	会員（4名）
③	アイスプラントの栽培	9/20 9/27	森宅 林宅	<ul style="list-style-type: none"> 苗購入のための調査 苗購入・定植 	会員（2名） 会員（4名）
④	海産物残渣の活用検討	9/27	作田宅	<ul style="list-style-type: none"> 資材の購入実施、海産物残渣手配 	会員（3名）
⑤	第6回環境ウォーク実行委員会	9/29	ふれあいセンター	<ul style="list-style-type: none"> 10/11 にブースにて「テーマ：フードマイレージ」を啓発 	委員8名、 会員1名
⑥	イベント参加内容について	9/30	森宅	<ul style="list-style-type: none"> 啓発内容、提供販売品目等について 	会員（7名）
来月 予定					対象者 参加者(人数)
⑤	第6回環境ウォーク in ときがね湖	10/11	ときがね湖	<ul style="list-style-type: none"> ブースにて「テーマ：フードマイレージ」を啓発 	小学生、一般 （100名）
⑥	海産物残渣の活用検討	10/ 下旬	作田宅	<ul style="list-style-type: none"> 各微生物、酵素等での試験経過状況 	会員4名
⑦	イベント参加準備	10/ 下旬	福地宅	<ul style="list-style-type: none"> 提供・販売品目の状況について 	会員8名

③PR方法

特になし

④連携・協力関係団体等


特になし

⑤成果・課題

成果・効果	事業に取り組んで見えてきた課題
・アイスプラントの定植	・アイスプラントの種からの栽培は、難度高く経験を有する
・第6回環境ウォーク in としがね湖での啓発活動の実施	

<成果の客観的データを記入します。例えばアンケートの結果を記入します。>

イベント内容などの写真

	
NPO 活動写真展の作品	

<推進委員コメント>

団体名 野菜の自産自消の会

〒283-0101 山武郡九十九里町作田 1078 の2

TEL/0475-76-7807 FAX/0475-76-7807

<http://www.abcde.html>

自産自消の会